

環境最先端
都市 福島
FUKUSHIMA

福島市は再生可能エネルギーの推進と省エネルギー、省資源につながるライフスタイルの普及啓発に努めています。



なすび 佐藤 真瑚

※佐藤真瑚さんは2016ミス・ユニバース ジャパン 福島県代表 日本大会3位に選ばれました。

福島市クールチョイスアクション

未来のために、私たちができること

桜の聖母高等学校の生徒と福島市クールチョイスナビゲーターのなすびさん、佐藤真瑚さんによる地球温暖化対策の国民運動「クールチョイス (=賢い選択)」をテーマにした座談会を行いました。将来を担う高校生が実践しているクールチョイスの取り組みやアイデアをご紹介します。



未来のために、いま選ぼう。



空間シェアも クールチョイスなんです

普通科 1年
菅野 咲樹さん

学校のスタディセンターを利用して勉強していますが、みんなで空間をシェアすることもクールチョイスなんです。環境のために、自分のしていることに責任を持って行動していきます。



座談会では、高校生が考え、行動できるクールチョイスについて、さまざまな意見が出されました。



家族一緒に部屋で 過ごすのもクールチョイス

普通科 2年
柳沼 理子さん

家族が別々の部屋ではなく、一つの部屋で一緒に過ごすことで冷暖房や電気省エネになっていきます。自分一人がやってもと思うこともあったけれど、私たちの行動一つ一つが大切です。

小さなことから 実践していくことが大切



普通科 2年
志水 琴美さん

プラスチックごみを減らすため、エコバッグを持っています。夏に先生方がネクタイを外してクールビズに取り組んでいます。学校や企業、個人が小さなことから実践していくことが大切です。

インスタグラムの ストーリーを利用して発信



普通科 2年
安達 真楓さん

移動教室の時に、電気やエアコンを消す「電気係」をやってみようかな。クールチョイスを広めていくために、インスタグラムのストーリーを使って発信するのも良いかもしれません。

使わない電気を小まめに 消すのもクールチョイス



普通科 2年
岡部 真林さん

最近の夏は異常に暑いと両親は言います。やはり地球温暖化の影響でしょうか。我が家は電気をLEDに変えたり、使わない電気を小まめに消したりしています。これもクールチョイスなんです。

クールチョイスって 身近にやっていることだった



普通科 2年
桑折 桃子さん

クールチョイスの言葉にあまりピンと来ていなかったけれど、マイボトルを持つなど身近にやっていた取り組みでした。家族や友達にも呼び掛け、互いに実践して良い環境にしていきたいです。



【クールチョイスに関するお問い合わせ】
福島市 環境部 環境課 環境企画係
TEL : 024-535-1111
(内線 : 3715・3716)

クールチョイスにご賛同をお願いします!

賛同はこちらから▶
COOL CHOICE個人賛同登録用QRコード

